

市民の皆様 各位

## 福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム支援金ご寄付のお願い

福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会

3・11の東日本大震災は我々の社会に大きな不幸をもたらしました。しかし、その悲惨な状況の中でも多くの人が被災地で助け合う姿が見られ、そのことが悲惨な被災の中でなんとか我々の社会の「希望の灯」となっています。そうした「助け合う社会」の実現に向けて多くの人が連携をすすめているなかで、福島第一原発事故の被害から子どもたちの支援活動を作り出そうとして結成されたのが、「福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会」です。

この実行委員会にはNPO、行政機関、市民が参加し、この夏に向けた活動として「ふくしまキッズ夏季林間学校」を計画しています。福島原発事故の影響で、福島の子どもたちは外での活動は禁止され、室内にすることが強制されています。こうした中で、この計画では、今年の夏休みを迎える子どもたちに「室内避難」を押し付けるのではなく、この機会を生かして、子どもたちの学びと育ちを支援する教育事業を実施し、多様な体験や人とのコミュニケーションを作り出して行きたいと思っております。それはきっと子どもの人生の宝になるに違いありません。

この活動にご賛同いただける皆様に支援金をご寄付いただき、「ふくしまキッズ夏季林間学校」に出来るだけ多くの福島の子どもたちが参加できるようにしていただければと、ご協力をお願いする次第です。

この活動の概要計画については下にまとめさせていただきますが、活動の様子はネットで見ていただけるようにして、終了段階では活動報告をはじめ、会計報告などを行う会をネットで配信したいと思っております。どうか全国の皆様のご支援をよろしくお願いたします。

実行委員長 進士 徹 (NPO 法人 あぶくまエヌエスネット 理事長)

**活動名** 北海道一万人サマーキャンププロジェクト  
福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム 「ふくしまキッズ夏季林間学校」

**主 催** 福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会  
委員長：進士徹 (NPO あぶくまエヌエスネット理事長) 副委員長：吉田博彦 (NPO 教育支援協会代表理事)  
実行委員：宮本英樹 (NPO ねおす専務理事) 安江こずゑ (NPO 教育支援協会北海道代表理事) 上条大輔 (NPO 法人自然環境応援団児童デイサービスあーす) 渡会元紹 (曹洞宗寶琳法住職) 穴澤剛行 (一般社団法人子どものチカラ研究会常務理事)  
監査委員：金野栄太郎 (公認会計士) 立川直樹 (あづさ監査法人部長)

### 福島の子どもを守ろうプログラム支援委員会

支援委員：岡田武史 (日本サッカー協会理事・ワールドカップ日本代表元監督) 玄侑宗久 (作家・震災復興構想会議委員) 白石康次郎 (海洋冒険家) ジョン、ギャスライト (ツリークライミングジャパン) 田ロランディ (作家) 戸塚 隆 (ジャーナリスト) 寺脇研 (京都造形芸術大学教授) 吉田研作 (上智大学教授)

**協 力** NPO あぶくまエヌエスネット・NPO 教育支援協会・NPO 教育支援協会北海道・NPO ねおす・NPO スタニティ  
NPO 自然環境応援団・NPO 大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンター・NPO 放課後アフタースクール  
北海道・北海道教育委員会・七飯町・北海道教育大学

### 支援金の募集

本プログラムを実施するために、以下のHPに募金口座を開設し広く支援金を募集する。

①<https://fukushima-kids.org> ②<https://ふくしまキッズ.jp>

口座名「福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会 実行委員長 進士 徹」

東邦銀行 棚倉支店 店番号 305 口座番号 574540

■ 支援金 (目標額) 25,000,000 円 集まった支援金によって募集人数、活動規模を決定する

### 今後の予定

- 予算内容の最終決定：～6/3 (支援金の募集は継続)
- 募集開始：6/6～ (記者発表を福島現地、北海道・東京で行う) 募集締め切り：6月末 先着順
- 実施本部設置：7/20 実施本部解散：8/31 決算委員会：9/11 支援企業への報告 活動報告会：9/8

活動の概要は裏面、もしくは福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会ホームページをご覧ください。

①<https://fukushima-kids.org>

②<https://ふくしまキッズ.jp>

## 「ふくしまキッズ夏季林間学校」募集要項

- 募集対象：  
福島原発放射能で不安を抱え、この事業計画に賛同する家庭の子どもたち小学1年生～中学3年生  
(兄弟での参加の場合は幼児も可、障害のある児童・生徒の場合と同じく保護者同伴での参加とする)
- 募集人数：  
とりあえず第一次募集200人を予定し、応募が多い場合、支援金の状況をふまえ追加募集を行う  
(支援金によって引き受け可能な人数が変動する)
- 参加条件：  
親の参加も可能。ただし往復引率責任及び現地活動支援ボランティアとして関わることを条件とする。  
また、参加を希望する子どもと保護者には、事前説明会に出席を条件とします。
- 引き受け期間：7/25～8/30  
(4コース選択制 A-1：1週間、A-2：2週間、A-3：3週間、A-4：4週間、A-5：5週間)  
(送り出し駅は新白河駅・郡山駅・福島駅、参加は1週間単位とし、最長活動期間は5週間とする)
- 移動手段：JR(新幹線+在来線)
- 費用：参加費3万円(交通費相当分)のみ、その他生活費・体験活動及び学習指導費すべて無料  
(参加者の乗車駅や子どもの年齢で交通費が異なるので、参加費を交通費相当分としてすべて同一費用とする。また、保護者の費用については1日4千円としてすべて自己負担とし、滞在期間との関係で相談に応じる)
- 申し込み先：福島県NPO あぶくまエヌエスネット  
(申し込みは先着順、申し込み完了はすべて以下に示したHPに掲載したQRコードから行う)  
①<https://fukushima-kids.org> ②<https://ふくしまキッズ.jp>
- 問い合わせ先：NPO あぶくまエヌエスネット
- 事務局担当：NPO 教育支援協会

## 運営体制

- 運営本部を北海道・大沼に設置し、周辺地区において活動を行う。参加者が増えた場合は北海道他地区に活動地区を設置する。
- 各地区の担当指導者及び運営体制については北海道各自治体への協力要請をしている。
- 指導者は東北地区で被災したため活動できない自然体験活動専門家が担当し、補助者として関東地区と北海道の学生ボランティアが参加する。
- 夏休みに入った段階で、家庭の都合に合わせて出発日を決めて申し込んでいただき、福島県内の3つの新幹線の駅に集合した子どもたちを週単位の出発日に新幹線で新青森を経由して北海道函館駅までの列車で大沼の自然体験活動拠点にスタッフが送り、現地に子どもたちを迎い入れる。
- 現地集合後、大沼でチーム作りを終えた子どもたちから、スタッフがリーダーとなり、「馬体験」「山歩き」「草花採集」「農業体験」「星の観察」「陶器作り」「そば打ち」「溪流釣り」「アウトドアキャンプ」などの多様な自然体験活動プログラムを運営する。また、大沼の国際会議場等の施設を借り切り、子どもたちの夏休みの宿題や教科の補習などの対応も行い、各家庭の都合に合わせて週単位で順次帰京する。
- 本プログラムの支援委員である方々に子どもたちとの活動をお願いし、岡田武史氏のサッカー指導や白石康次郎氏の冒険活動、田口ランディー氏の読書活動などの実施を計画する。

## 会計監査

福島の問題は今年だけでは解決しないので、長期の取り組みが必要となる。そのため、今年度の夏は「福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム」を運営するが、冬休みに向けた企画などを計画するため、支援金の使用については「福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会規約及び会計規則」を作成し、支援金の使用については規則に沿って運営し、監査委員の監査報告などを活動報告会で実施する。